

外来診療科		月	火	水	木	金	備 考
内 科	午前	○	○	○	○	○	
	午後						午後の定期診療は一時中止しています
消 化 器 内 科	午前	○	○	○	○	○	
	午後			■	■		■第1・3水曜日&第4木曜日 午後：内視鏡予約検査
循 環 器 内 科	午前	○	■	○	○	○	■第2・第4火曜は呼吸器（第1・第3・第5火曜は循環器）
小 児 科	午前	○	○	○	○	○	
	午後	○	○	○	○	○	町の健診終了時間により午後の診察時間が変わります
整 形 外 科	午前	○	○	○	○	○	
リハビリテーション科	午前	○	○	○	○	○	
脳 神 経 外 科	午後				○※		受付時間…7:00～15:00 ※第1木曜日は10:00 診察開始
婦 人 科	午前				○		
泌 尿 器 科	午前	○		○		○	
人 工 透 析	午前/午後	○		○		○	
耳 鼻 咽 喉 科	午前				○		■火曜日の診察は奇数週（第1・3・5週）のみです
	午後		■		○		受付時間…7:00～14:00
眼 科	午前	○	○	○		○	
皮 膚 科	午前		○			○	完全予約制です（予約の際は直接ご来院下さい）
精 神 科	午後		○				完全予約制です（予約の際は直接ご来院下さい）

！診療体制変更のお知らせ 精神科：平成31年4月より、火曜午前→水曜午後に変更となります

消化器内科	117	眼科	87
循環器内科	239	脳神経外科	42
小児科	48	内科	592
整形外科	230	皮膚科	60
リハビリテーション科	0	泌尿器科	114
婦人科	3	精神科	15
耳鼻咽喉科	36	合計	1,583

紹介機関	紹介患者数	内CT	内MRI
診療所	587	80	2
病院	377		
老健施設	129		
特養老人ホーム	3		
厚生連病院	484		
ショートステイ	3		
合計	1,583		

連絡先 湖東厚生病院 地域医療連携室

代表電話 018 (875) 2100
直通FAX 018 (875) 5421
業務時間 平日 8:30～17:00
住 所 南秋田郡八郎潟町川崎字貝保9番1

湖東厚生病院 018-875-2100 (代) Fax 018-875-5269



湖東厚生病院
地域医療連携室だより

Bells in Koto since 2011

ことうの鐘 Vol.13



今年の冬は大寒を過ぎてからも例年になく雪の少ない穏やかな天候に恵まれ、雪掻きの負担も随分と軽く感じられます。一方でインフルエンザは全国的には最大級の流行となり、県内においても地域によっては猛威をふるい、介護施設入所者の死亡が大々的に報じられました。当地での流行は幸い今のところは昨シーズンより少し控えめの感じですが、まだまだ油断は出来ません。

さて今年度は新病院開院から節目となる5年目でしたが、もう残すところ2ヶ月足らずとなりました。この5年間、開院前から繰り返し発信してきたキャッチフレーズ、『秋田県で一番、高齢者にやさしい病院』の実現に向けて病院全体で様々な取り組みを続けてまいりました。看護部門を中心とした摂食・嚥下、認知症、緩和ケア、糖尿病、退院支援などについての実践的活動は一步ずつではありますが、しかし着実に成果を上げてきたと実感する毎日です。また、一昨年、2名の内科系医師が新たに県外から赴任して頂いたことにより内科系の診療、特

に呼吸器疾患や消化器疾患に対する専門的診療の充実が得られたのは望外の嬉しい動きでした。

更に3年前から始まった秋田県厚生連9病院の利用者満足度調査（接遇関連）において当院は毎年、非常に高い評価を頂いております（総合評価で2回の最優秀賞！、そして各部門でも多くの最優秀賞を受賞！）。当院を利用して頂いている患者さんや家族の方々からのこのような暖かい評価は、私たち職員にとって大きな励みとなっています。これから先も診療内容の充実は勿論のこと、更なる接遇向上に向けて日々、努力を続けていかねばと思いを新たにしています。

今後も、患者さんのQOL(生活の質、そして人生・生命の質)を最大限に尊重する全人的医療を提供することを通じて、当地域における「地域包括システム」の要としての役割をしっかりと果たして行きたいと思っております。

院長 中鉢 明彦

スタッフ紹介 当院の医療福祉相談員を紹介します。

Introduction



菅生 華恵 すごう はなえ

平成 30 年 4 月 1 日より当院勤務
医療福祉相談室配属

社会福祉士・精神保健福祉士

湖東厚生病院の医療福祉相談室で勤務している相談員（医療ソーシャルワーカー）の菅生華恵と申します。

これまで大館や同じ厚生連の由利組合総合病院で勤務しておりましたが、平成 29 年 4 月より当院へ異動となりました。私は井川町出身なので、地元に近い病院で働けることをうれしく感じています。

ケガや病気になると経済的・心理的・社会的なこと等様々な療養上、生活上の問題が起こることがあります。医療福祉相談室では通院中や入院中の本人や家族の方の不安なことや気がかりなことについて相談に応じ、一緒に考え、制度や社会資源の利用や、必要に応じて病院職



員や他医療機関、行政、施設等と連携し、問題解決のお手伝いをさせていただいております。相談内容としては、医療費や生活費等の経済的なこと、福祉や医療等の各制度・サービス（介護保険、身体障害者福祉手帳、特定疾患等）の手続きについて、受診・入院・転院相談、またどこに相談したらよいかわからないこと等様々です。

私自身仕事の経験が浅いため、まだわからないことも多く、医療ソーシャルワーカー 1 人体制で対応しておりますので、ご迷惑おかけすることもあると思いますが、少しでも早く皆様のお役にたてるよう精進してまいりますのでよろしくお願い致します。

地域医療連携に係わる 多職種意見交換会

平成 30 年 11 月 16 日大潟村のふれあい健康館において、「在宅医療・終末期医療を考える」～多職種連携のアドバンス・ケア・プランニング～をテーマに地域医療連携多職種意見交換会を開催しました。今年度から当院と五城目町・八郎潟町・井川町・大潟村の 3 町 1 村での共催となり、近隣の施設より 60 名の方にご参加をいただきました。

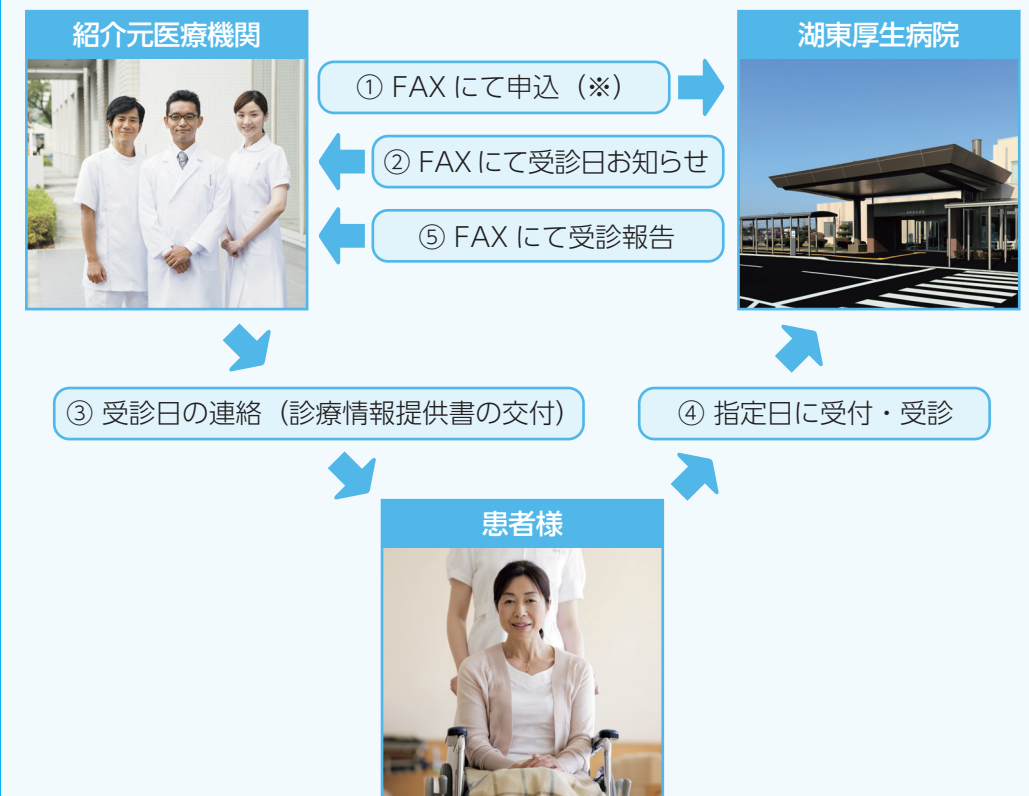
はじめに、秋田往診クリニック理事長、市原利晃先生より「看取りをふまえた多職種連携」と題してご講演いただきました。「より良く生きるためには住み慣れた場所に帰る」「家に帰ると予後が延びる」「家に帰りたいという希望をどうやってかなえるか」、地域にあったネットワークづくりが大切と言われたことが心に残りました。

その後、ワールドカフェ形式で「在宅医療・終末期医療を支える」ための多職種連携について、身近な事例を通してディスカッションを行い、それぞれの立場で意見を出し合い情報交換することで相互理解を深めることができました。本人・家族を支える体制も多岐に渡っている中で、病院と地域との連携の必要性を改めて確認した有意義な意見交換会となりました。

参加者からは、「他の市町村、他施設の意見を聞くことができた」「在宅に帰りたい希望のある方を支え、家族に寄り添い、不安なく最期まで看取れるよう多職種間で話し合いを重ねていきたい」などのご感想をいただきました。今後も定期的にこのような意見交換会を開催し、医療・介護・福祉の連携を深め、患者様が住み慣れた地域において、その方の望む生活の支援を行っていききたいと思います。



地域医療連携室 ご利用の流れ



- ①紹介元医療機関様より「紹介患者様用診療申込書」を地域医療連携室へ F A X 送信していただきます。
（※お急ぎの場合は直接お電話いただいております）
- ②地域医療連携室で各科外来と受診日調整を行い、紹介元医療機関様に F A X にて受診日等をお知らせいたします。
- ③紹介元医療機関様より患者様へ「診療情報提供書」を渡していただき、受診日等のご説明をお願いします。
- ④紹介患者様の受付は、当院「紹介患者様窓口（正面受付）」にて外来事務職員が対応させていただきます。
- ⑤受診後、地域医療連携室より速やかに紹介元医療機関様へ「受診報告書」を F A X させていただきます。

夕暮れ診療時間帯でも F A X をお受けいたします！

当院では、夕暮れ診療の時間帯（17 時～19 時）であっても、医療機関様からの患者紹介や患者情報などの F A X をお受けしております。

なお、夕暮れ診療の時間帯に F A X をお送りいただく際には、送信前に当院へお電話にてご連絡ください（☎018-875-2102・内線 2180）。

ご面倒をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。